

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和5年度分)

施設名	群馬県福祉マンパワーセンター	所管課	健康福祉部福祉局地域福祉課
指定管理者名	(社福)群馬県社会福祉協議会	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市新前橋町13-12(群馬県社会福祉総合センター6階)
指定管理業務内容	①社会福祉事業に従事しようとする者に対する就業援助業務 ②社会福祉施設等職員研修の実施 ③社会福祉事業従事者の確保に関する調査研究 ④社会福祉事業に関する普及啓発等

2 職員の状況(令和5年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	4 人	合計:	10 人
短時間雇用の職員:	6 人		

3 収支の状況(令和5年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	53,160,000	人件費	35,698,801
		委託料	8,575,340
		光熱水費	101,442
		租税公課費	67,365
		その他(通信運搬費・広報費等)	8,717,052
収入合計	53,160,000	支出合計	53,160,000

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和5年度(実績)	(参考)令和4年度(実績)	(参考)令和3年度(実績)
①年間利用者数(人)	①求職相談6,599件 ②就職者数298人 ③研修参加者594人 ④研修動画視聴802回	①4,432件 ②208人 ③429人 ④684回	①3,455件 ②208人 ③691人 ④643回
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
福祉人材無料職業紹介	通年	紹介件数 324件 就職件数 298件	福祉人材の確保を目的に、福祉マンパワーセンター、高崎支所及び東毛バンクにおいて、求職者に対し無料で職業紹介を行った。	・一人で職探しをしていると大変な労力等を要するため、センターの存在が大変ありがたい。 ・求人情報を毎月送っていただけるのはうれしい。
福祉の仕事フェア・お仕事相談会	①R5.6.11 ②R5.9.10 ③R5.9.24 ④R5.10.19 ⑤R5.11.23 ⑥R6.1.20	①33人 ②13人 ③45人 ④19人 ⑤21人 ⑥26人	福祉人材の確保を目的に、学生や一般の方を対象として、地区別相談会を開催した。	【求職者】 ・多様な事業所のお話をまとめて伺う機会は貴重なもので良かった。 ・資格はあるが経験がなく不安だったが、センターの職員が相談に乗ってくれて、仕事を見つける気になった。 【求人事業所】 ・人材確保が困難な時に求職者様と対面でお話させていただける機会をいただけてありがたい。 ・年配の方が多い印象を受けた。
福祉の仕事ガイダンス	①R5.7.26 ②R5.8.2 ③R5.10.26 ④R5.10.26 ⑤R5.10.27	①13人 ②17人 ③45人 ④33人 ⑤7人	求職登録者等で、なかなか就職に結びつかない人や、介護等の未経験者を主な対象として、就職活動を支援するため、複数のテーマのガイダンスを開催した。	・とても大事な仕事なのでこれからますます重要になると感じられた。 ・全く知らない世界でしたが、興味が少しわきました。
キャリア形成に資する研修	初任者: R5.6.23・30 ほか2日程 中堅: R5.8.23・30 ほか2日程 リーダー: R5.11.16・17 ほか1日程	初任者:230人 中堅:203人 リーダー:123人	福祉人材の育成を目的に、福祉従事者を対象として、キャリア等に応じた階層別研修を開催した。	・研修を通して色々な人の意見、考え方を知ることができたので良かった。 ・職位に応じたあり方や必要な行動が理解できた。 ・モチベーションがあがった。
福祉マネジメント力を高める研修	対面: R5.10.16、 R5.12.26 動画配信: R5.12.6～ R6.3.15	対面:30人 動画配信:772回(視聴回数)	福祉人材の育成を目的に、福祉従事者を対象として、社会福祉事業者の福祉マネジメント力を高める研修を開催した。	・法人の課題であった研修を受講できて勉強になった。 ・動画配信形式であったので自分の時間で視聴できたり、わからないところは繰り返して確認することができた。

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

通年

(実施方法・回収率等)

1 窓口相談

窓口来所時、アンケート用紙によるアンケート実施。(回答率27.2%)

2 研修

研修受講生へのアンケート。□

集合研修は紙で配付、オンライン研修(動画を含む。)はLOGOフォームで回答を依頼・集計した。

●階層別研修:回収率

①新任職員研修(集合・オンライン):94.8%、②中堅職員研修(集合・オンライン):95.6%、

③チームリーダーキャリアアップ研修(集合・オンライン):97.6%、④管理職員研修(オンライン):92.1%□

●マネジメント研修:回収率

①キャリアパス策定研修(集合):96.7%、②リスクマネジメント研修(動画):38.4%、③職場内コミュニケーション研修(動画):40.6%、④ハラスメント防止研修(動画):35.7%、⑤社会福祉法人監事研修(動画):44.9%

(項目別回答集計)

1 窓口相談

・センターを知ったきっかけ

①ハローワーク19.1%、②友人・知人30.7%、③学校8.3%、④インターネット22.9%、⑤ポスター3.9%、⑥市町村役場2.7%、⑦市町村社協0.6%、⑧その他11.8%

・窓口対応満足度

①満足85.2%、②やや満足2.9%、③普通1.2%、④やや不満0%、⑤不満0%、無回答10.7%

・どんなイベントに参加したいか

①就職相談会31.9%、②施設見学会44.1%、③ガイダンス4.9%、④その他2%、⑤参加したくない1%、無回答16.1%

(利用者からの意見等)

1 窓口相談

・気になる就職先の詳しいことを知ることが出来た。スピード対応で期待以上だった。

・名前の知っている事業所ばかりで、新しくできたオープニングの事業所の求人を知りたい。

・なかなか声を掛けにくい。もう少し入りやすいとありがたい。

2 研修

・研修を通して色々な人の意見、考え方を知ることができたので良かった。

・職位に応じたあり方や必要な行動が理解できた。

・動画配信形式であったので自分の時間で視聴できたり、わからないところは繰り返して確認することができた。

(調査結果分析)

1 窓口相談

・細かい情報等も提供しており、来所者からの満足度は高い。

・就職相談会や施設見学等、職場の雰囲気がわかるようなイベントを求めている求職者が多い。

・求職者を迎え入れるための工夫が必要。

2 研修

・集合研修、オンライン研修、動画配信等、それぞれの長所があり、それぞれにニーズがあると思われる。階層別研修については、集合研修とオンライン(動画視聴を含む)研修の両方を実施するとともに、アンケート等でそれぞれの特徴を明確にして、集合研修とオンライン(動画視聴)実施を使い分けていきたい。

・動画配信研修は、自分の都合に合わせて受講できるため、集合研修やZOOM等のオンライン研修では参加のない事業所からも申込があった。また、何度も聞き直しができることなどで一定の評価がある。

(調査結果への対応状況)

1 窓口相談

・来所者への丁寧な対応を引続き心がけると共に、施設訪問等により最新の情報を収集できるように努める。

・就職相談会の回数を増やす他、積極的な施設見学の調整を行う。

・求職者が入りやすいように受付窓口のレイアウトを変更し、求職者が来たらすぐに声をかけるように職員への教育を行った。

2 研修

・研修内容や事業所の研修環境を考慮して、集合研修とオンライン研修(動画を含む。)、または両者の組合せを検討する。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

特に無し。

7 管理運営状況の評価（A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	・就職者数等の年間利用者数に関して、事業計画、仕様書などおりの成果、実績がある。 ・利用者からの相談・要望に対して、状況や意向の理解に努め、適切な支援や対応を実施した。	<評価できる事項> ・サービスの質を向上するため、利用者の状況に応じた丁寧な支援を行っている。 <改善すべき課題> ・就職者数の更なる増加に向けて、県内様々な地域で福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組をより強化する必要がある。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	B
法令遵守等	B
労働条件評価の実施	有

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	B
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	ハローワークや事業者団体、職能団体、学校関係者等との連携により、福祉分野での牽引的な役割に取り組んでおり、福祉人材無料職業紹介における採用件数が昨年度と比較し大幅に増加した。
評価委員会の年度評価	A	おおむね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。